

事例 12

多世代交流

～長津田をもっと楽しく、もっと元気に！

【緑区事例】「ながつた ハロー☆ウォーク」(令和2年10月開催)

団体紹介

- ・団体名：N I K O (ニコ)
- ・活動者の受講年度：平成30年度(第4期生)
- ・メンバー数：10人
- ・活動実績：実験的に自宅を開放するイベントを開催。

(月1回程度)カラオケ会や「みんなで作ろう餃子まつり」等
令和2年度は「街を知ろう」をコンセプトにハロウィンに合わせたイベントを企画。約370人という参加があり成功をおさめた。

イベントの参加施設は、長津田地域ケアプラザ、緑消防署長津田消防出張所、みどりアートパーク、長津田地区センター、長津田駅。参加店舗は13店舗

- ・活用制度：令和2年度緑区地域課題チャレンジ提案事業(スタートアップコース)



参加を呼びかける代表の井山さん
(写真①)

活動内容

代表の井山さんには、長津田で多目的カフェを開くという夢があり、その実現のために人脈を広げたいという願いがありました。そんな折、平成30年度みどり「ひと・まち」スクールの募集を知り受講。同じように志を持って活動している仲間や先輩たちとの出会いがあり、世代を超えたつながりができました。講座終了後、自宅を開放した「つどいの場」を実験的に開催。育児、子育てを応援したい、されたい人が気軽に集う場となっています。

「ながつた ハロー☆ウォーク」は、世代を越えて長津田の街を好きになってほしいという思いで、令和2年10月に同団体が企画しました。スクールからつながりができた長津田地域ケアプラザの紹介により空き店舗をスタート地点とすることができました。(写真②)

新型コロナウイルス感染症対策のため、オンラインで打合せを行いました。実際に現場での当日のシミュレーションができず困難を極めました。当日の感染症対策もチェックシートの作成や各店舗への消毒依頼等やるべきことが山積でしたが、ママたちの力を結集して乗り切ったそうです。

初めてのイベントを経験したからこそ見えてきた課題、反省点がありました。参加者アンケートからは「続けてほしい」という声が多く、コロナ禍の状況を見ながら開催したいと意欲をみせています。

同イベントは「緑区地域課題チャレンジ提案事業」のスタートアップコースとして採択されました。こうした資金面の制度もスクールの受講がなければ知らないままだったそうです。また、「手伝ってほしい」という求めに「いいよ！」と気軽に手を挙げてくれたスクールのつながりに感謝したいと振り返っています。



空き店舗を活用したイベントスタート地点(写真②)